

～部活動・クラブ活動～

今回は、広州日本人学校の中学部の部活動と小学部のクラブ活動についてご紹介します。

まずは中学部です。本校には7つの部活があります。校庭ではサッカー部と野球部が、体育館と屋内活動場ではバスケット部・バレー部・バドミントン部が、2つある音楽室ではそれぞれ吹奏楽部と軽音楽部が活動しています。活動日は火・水・木の週3日で、活動時間は放課後3:30～4:50までです。5月第1週の体験入部期間を経て、一人一人が自分の意志で入部する部活動を決め、本入部となります。

放課後になると、元気なかけ声やきれいな音色が校内のあちこちから聞こえてきます。短い時間ですが、その活動からは活気とすがすがしさが感じられます。部活動時間が終わり、帰宅のために汗をぬぐいながら足早に集合する生徒たちの表情からも、充実した活動をしていることが伺えます。行事や学習取り組み、またバスでの集団下校などの事情で、活動日も制限される中です。だからこそ中学生は、一回一回の活動を大事に、そして楽しみにしているのです。

学校では、この部活動を通して体力をつけたり技術を高めたりするだけでなく、諦めない気持ちやチームワーク、マナーなど多くのことを学び、人間として大きく成長して欲しいと願っています。



次に小学部のクラブ活動についてです。小学4年生以上が木曜日の6時間目に活動します。委員会が行われるときもあるため、毎週ではなく、月2・3回、年18時間の活動です。

広州日本人学校では、昨年度からの、サッカー・球技・卓球・バドミントン・バスケット・ハンドメイドに加えて、新しく音楽クラブとアートクラブができ、合わせて8つのクラブでの活動となりました。初回は1年間の活動の予定を6年生が中心になって話し合います。教科授業とは違い、異学年の児童が混ざっての活動です。6年生にはリーダーとしての責任や行動が求められます。

小学校のクラブ活動は、望ましい人間関係や個性の伸長、集団の一員として協力しようとする自主的、実践的な態度を育てることを目標にしています。クラスを超えた交わりの中から学ぶことは大きいことでしょう。

中学部の部活動とは異なりますが、異学年の子どもたちで過ごすクラブ活動を通して、多くのことを学んで欲しいと願っています。